

2009年1月22日

## 全国18国立大学を結ぶ高解像度遠隔講義システム

連合農学研究科は複数の国立大学の農学部が連携協力して博士課程の教育研究にあたる独立研究科として設置され、東京農工大学、岩手大学、岐阜大学、愛媛大学、鳥取大学、鹿児島大学の6大学に設けられています。

各連合農学研究科は2～4の大学で構成されており、それぞれの連合農学研究科内での講義の他、全国の連合農学研究科構成大学を結んでの遠隔講義も行われています。これまで衛星通信システム（SCS）を利用して、全国の構成大学を結んで遠隔講義を行っていましたが、SCSは経年変化が進み、維持管理が困難になりつつある状況でしたので、SCSに替わるものとしてこのシステムを構築することとしました。今回、この遠隔講義システムを展開する大学は連合農学研究科の構成大学である全国18国立大学法人の23カ所です(図1)。

今後の教育、研究活動を考え、高解像度品質とし、カメラ映像とパソコン等の映像を同時に2画面高精細に送受信することが可能です。また、今後この18大学以外のシステムとの相互接続も可能な設計になっています。単にテレビ会議システムの導入だけでは機器操作が煩雑で気軽に利用できない問題点がありましたが、今回の導入ではタッチパネルの利用や予約管理システムの導入により予約時間に自動的にシステムが起動するなど工夫をしています。

このシステムは現在東京農工大学が中心となり構築中であり、2009年2月に稼働予定です。今後は連合農学研究科内にとどまらず、広域の連携も進めて行く予定です。

また、平成21年2月23日(月)15:30からこのシステムを使い18大学を結んだ開所式を行う予定です。

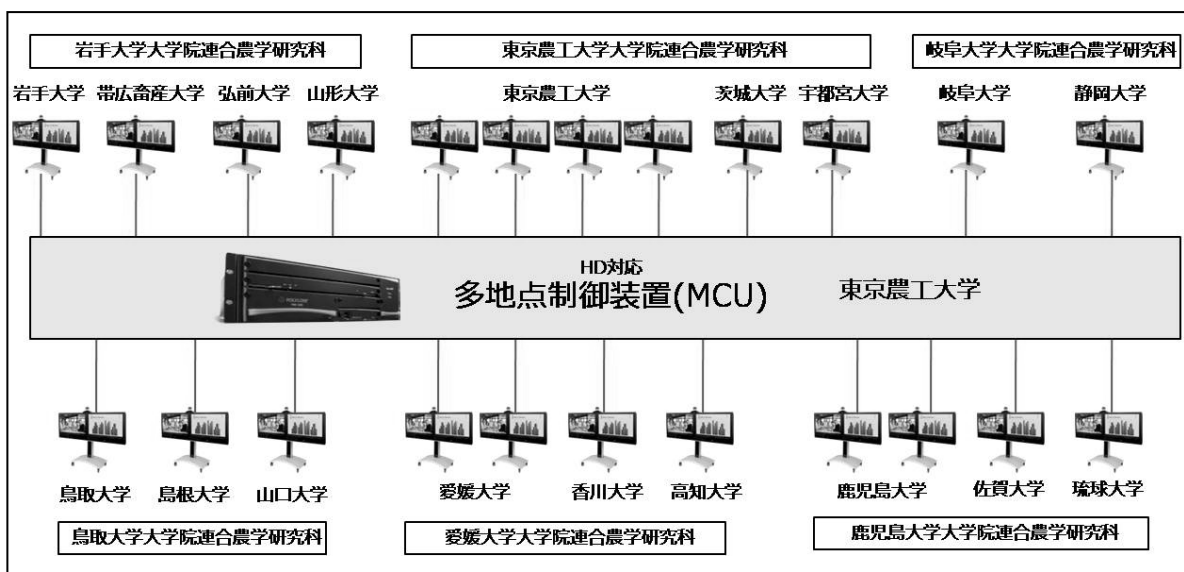


図1 設置大学ならびに多地点制御装置の接続概念図